

# JIN TradeCamp

## 第3回

移動平均線について

# 目次

- 移動平均線について
- 移動平均線の応用
- 直近のドル円について
- 2nd 質問事項回答編

# 移動平均線について

## 移動平均線

FX取引で利益を上げるためには、チャート分析を行ったうえで相場の水準を確認することが大事です。

その1つとして、移動平均線を見ることで、相場のトレンドを把握する手法があります。例えば、上昇を続けていた相場が何らかの要因で下落してしまい「上昇が終わった」と判断してしまいがちな状況においても、移動平均線を見ると上昇を続けていることがあります。

1日程度であればイレギュラーな動きをすることはあっても、平均を見ることによって大きなトレンドを把握でき、相場の流れをつかみやすくなります。

移動平均線に対して、現在の為替レートが大きく乖離していないかを把握することで、相場の過熱感の判断材料となります。

# 移動平均線

FX取引において移動平均線を用いる際には、  
方向や角度、ローソク足との位置関係を見極めることが大事です。

移動平均線を用いるときのポイントについて紹介します。

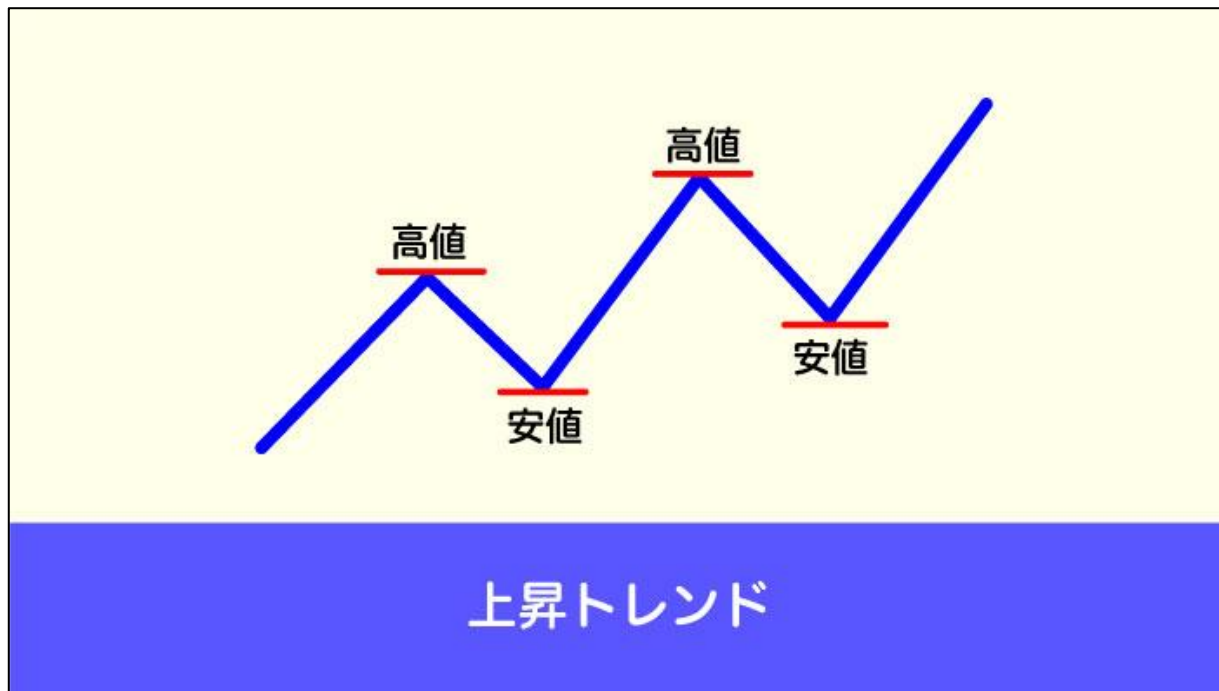
## 1.上昇トレンド

上昇トレンドは価格が上がり続けている値動きのことです。

画像のように高値を更新しながら、安値を切り上げている状況ですね。

多くの相場参加者は高値を更新してから押し安値で、買いのエントリーを仕掛けようとしています。

# 上昇トレンド



## 「押し安値」「戻し高値」

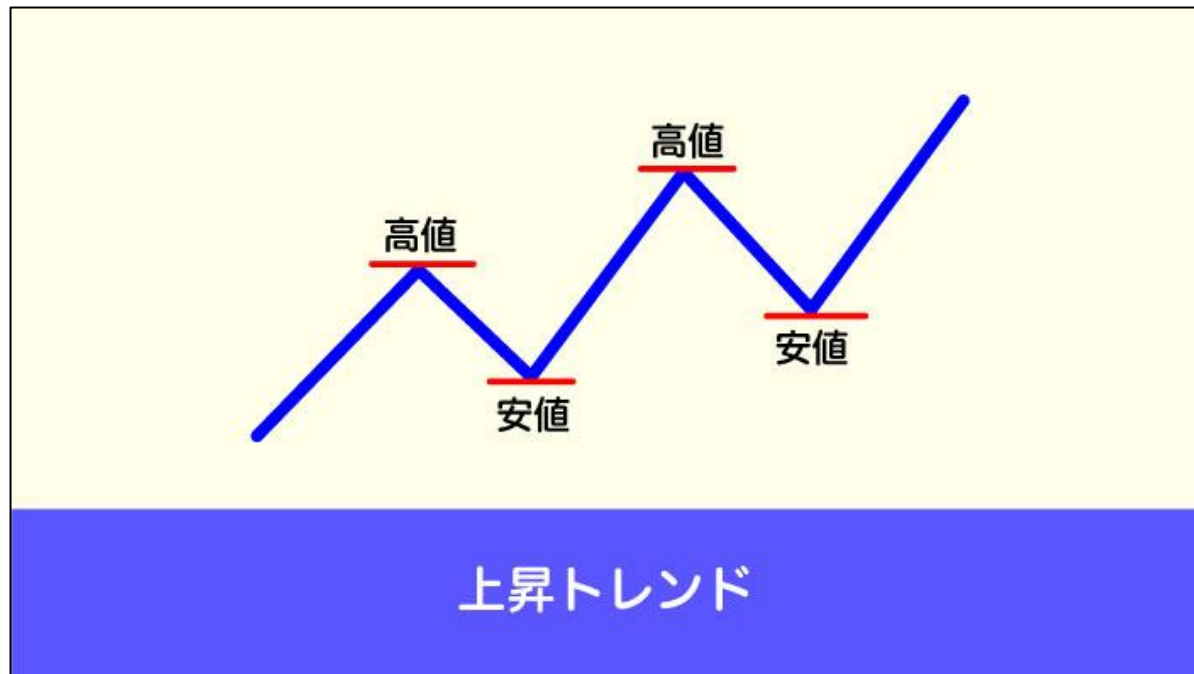
★「押し安値」  
「戻し高値」とは

押し安値: 高値を更新する起点  
となった安値のこと。

戻し高値: 安値を更新する起点  
となった高値のこと

上昇トレンドか判断するには

- ・移動平均線が右上向きである。
- ・安値を結んだトレンドラインが右上向きになる。



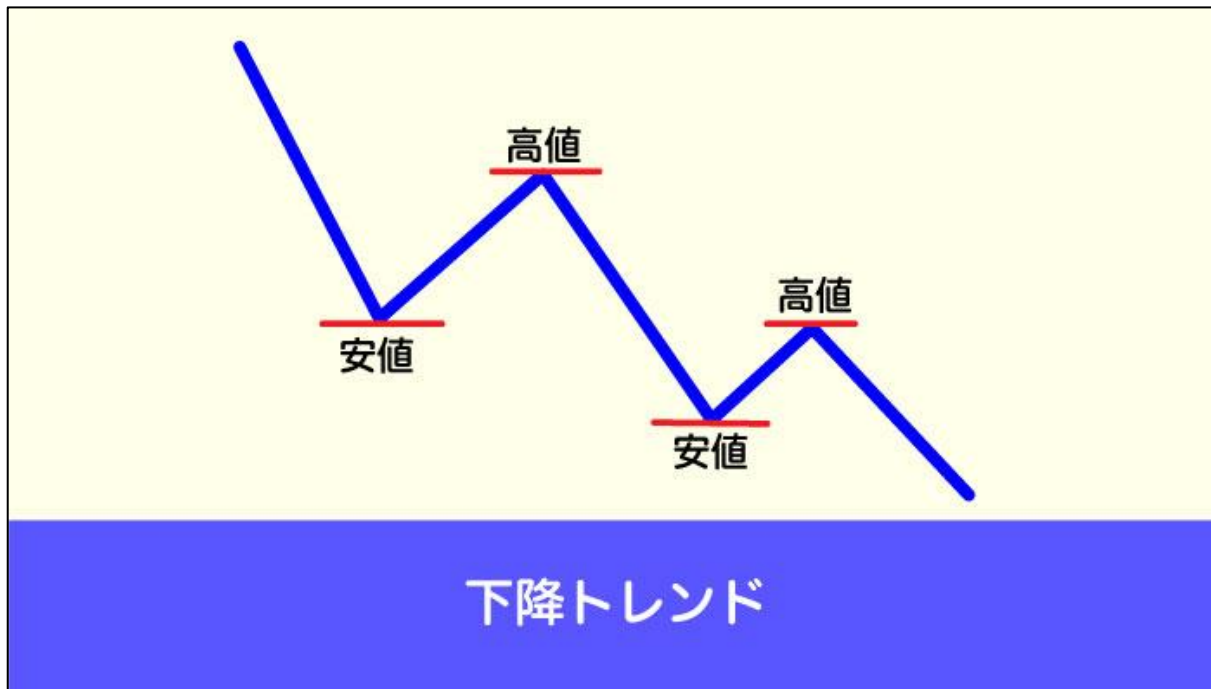
下降トレンドは価格が切り下がっている値動きのことです。

画像のように安値を更新しながら、高値も切り下げている状況です。

この場合、戻り高値で売りのエントリーを仕掛ける人が多くいます。

下降トレンドを判断するには  
**移動平均線が右下向き**  
**高値を結んだトレンドライン**  
**が右下向きになる。**

## 移動平均線





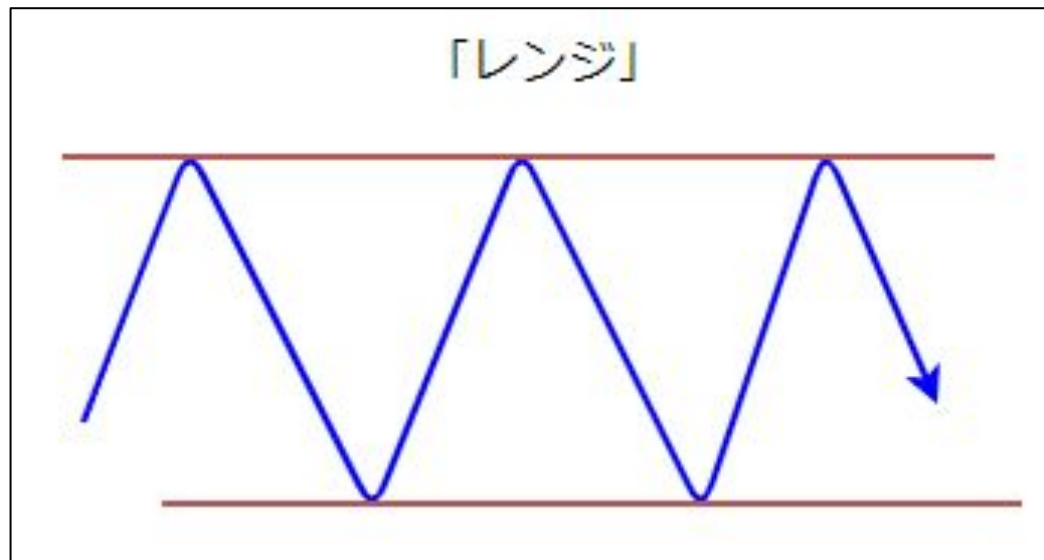
レンジは一定の値幅内で値動きが繰り返され、水平線や斜め線などの反発を狙ってエントリーができます。

しかしレンジでのエントリーは値動きが読みづらく、ダマシも多いため初心者にはオススメしません。

JINでも、レンジでのエントリーを見送ることは度々あります。

レンジか判断するには移動平均線が横ばいである場合。と、今はそれだけ覚えておきましょう。

## 移動平均線



右図のようにMAに**反発して**、

**支えになっていたMAをブレイク**(割っ

## 移動平均線

て飛び出ること)したら

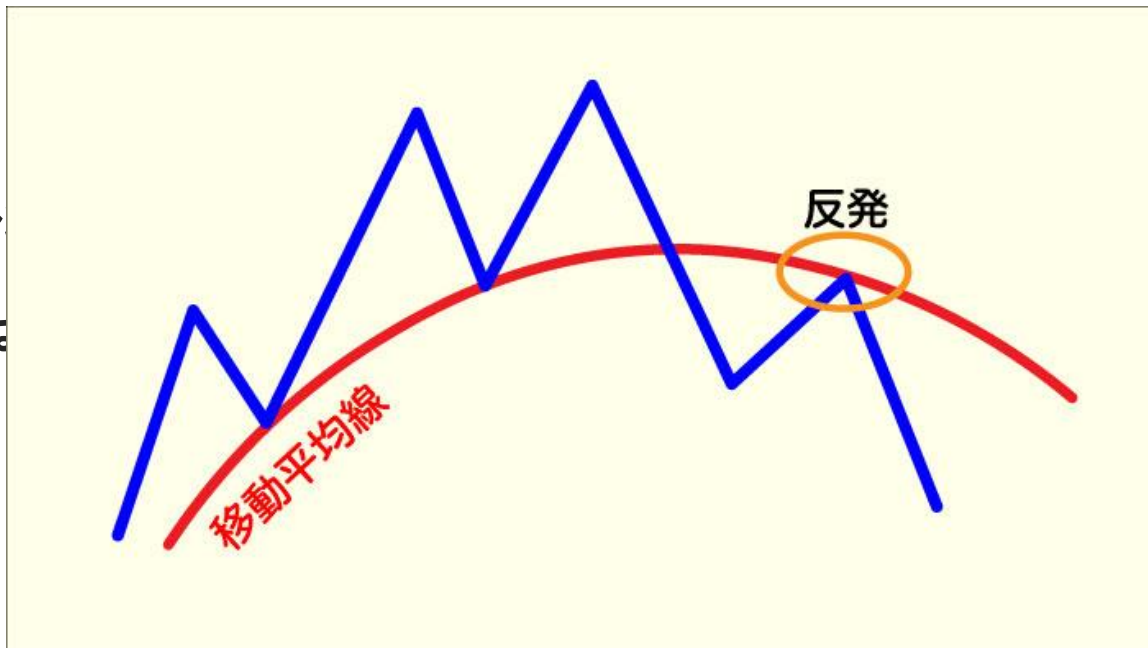
トレンド転換として判断できる。

要するに、反発手前までは上昇トレ

ンド(右上)、レンジになり、反発後には

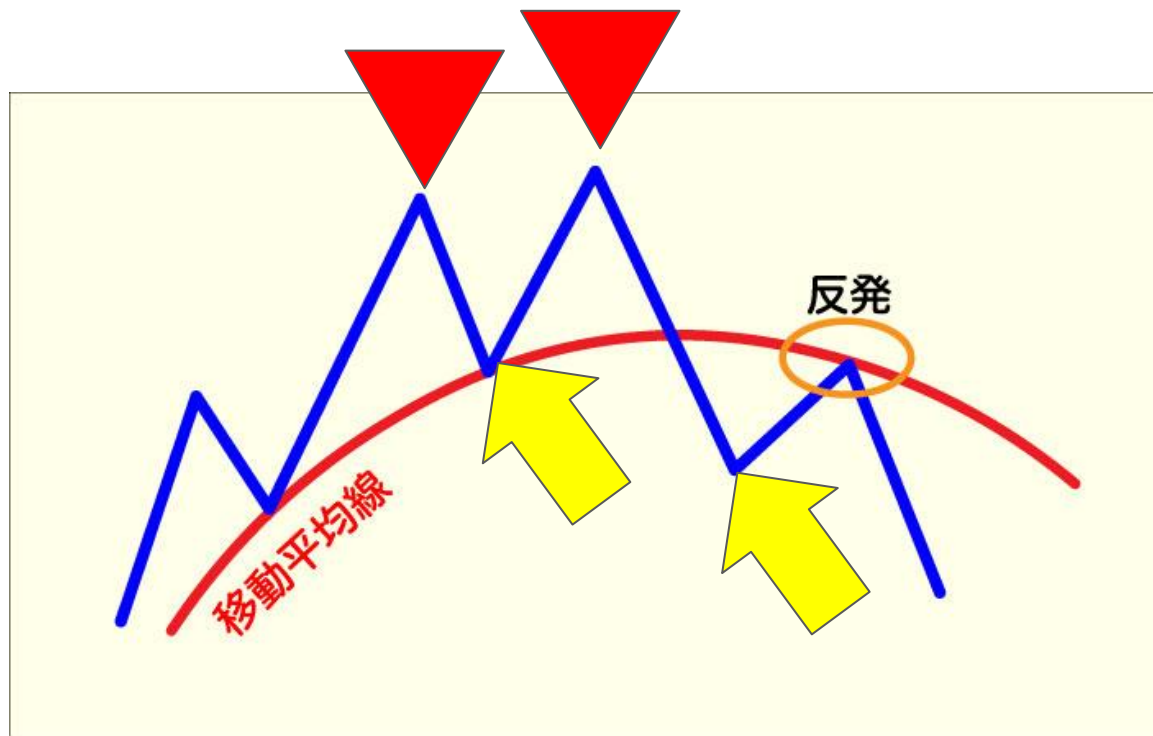
下降トレンド(右下)になっています

ね。



## 移動平均線

つまり、移動平均線を活用すると、  
最初の ▼ では  
エントリーせずに、  
次の ▼ でエントリーする  
ほうが良いと推測できる。



**移動平均線については  
まだ深掘りできますが、  
今はここまで覚えてください**

直近のドル円について

# 日銀の3/19の発表に注意してください

注目は「**マイナス金利政策の解除**」があるかどうか。  
超簡単に説明しますが、このマイナス金利政策が解除されると、**円高が進みます**。

なぜかというと、  
マイナス金利というのは、民間銀行が日銀に預けているお金に対して日銀が利息を払わず、  
反対に民間銀行に手数料を支払わせる政策のこと。  
マイナス金利を導入すると預金者である**民間銀行が利息を支払う必要**があり、**日銀にお金を預けにくくなります**。

日銀の思惑としては、民間銀行が融資等を企業に行う(貸付して企業から金利を取る。)ようにさせて経済を活性化させることを目的にしている。

円高が進む理由としては、投資家としては**金利の高い通貨を持つほうがいい**。  
つまり、低金利の通貨は売られるということ。

企業の株価は下がる可能性があるが、銀行株は上る可能性がある。  
いままで日銀に預けることでマイナスだった金利がプラスになれば、民間への**貸出金利を更に高くできる**。  
業績の悪い企業は倒産の危険にあるが**業績の良い企業や銀行の株価上昇**をみこめる。

## 円高の長期化もありえる

3/7から円高のトレンドがつづき、11日ごろまでは円高傾向が強かった。

なぜ、3/7から始まったのか？

それは、**日本銀行が3月の金融政策会合でマイナス金利政策解除に踏み切る**、との観測が強まったから。

なので、3/19の会合に注目が集まっている。

これを受けて、マイナス金利が解除された後に、長期的に金利が上がらない場合（低金利のまま）という見通しの投資家と、解除後早い段階で金利があがるのでは、と予想する投資家とがいるが、後者の見方をするものが多い場合、円が買われ円高が進むことになる。

要するに、シグナルの方向や移動平均線にくわえてこれを知っておくと、ドル円のペアの場合にはドル売り(SELL)の目線を中心においておけば意外とトレードで利益をだすのは容易かもしれない。ということ。

**円高に振れるかどうか注  
目しておくこと**



# 次回予告

4) 3/21(木)19時～

講義内容: トレーダーとして必要な考え方

PlusOneトレードキャンペーン速報